

事業報告書

I. 事業の概要

公益法人として第5期となる平成28年度は、

1. 奨学金事業として

(1) 県内在住18名の高校奨学生及び大学院奨学生1名に対し、奨学金を給付した。

(2) 奨学生同志の交流を深めるため懇親会を2回開催した。□

(3) 日本の古典文化に触れる機会として、奨学生を対象に奈良の寺を拝観し、仏像鑑賞等を行った。

2. 奈良県立橿原考古学研究所へ学術研究の為の書籍を寄贈した。

II. 事業活動

1 (1) 本年度は、新採用の6名を含めて計18名の高等学校奨学生に対し月額3万円、1名の大学院奨学生に対し月額10万円の奨学金を給付した。

(2) 懇親会

《第1回》

平成28年8月27日開催 在学奨学生 18名 ・ 卒業生 8名 / 計 26名参加
--

・午前中は、参加者全員で自己紹介を行った。

午後からは、懇親会の参加者全員で2つのテーマについて話し合った。一つ目は、前回に引き続き「スマホについて」を話し合ったが、今回は、「ながらスマホ」や「スマホ依存」についてが主な内容となった。最終的には「スマホは便利で日常に溶け込んでいるが、それを使うには知識とともに意識も不可欠。」ということでもまとまった。

2番目のテーマとしては、「一日の過ごし方」を話し合った。各々が、起床や就寝時刻等について、“皆はどうしているんだろう”と興味津々だったこともあり、笑いの多い楽しい時間となった。

《第2回》

平成29年3月25日開催 在学奨学生 16名 ・ 卒業生 5名 / 計 21名参加

- ・ 午前中は、参加者全員で秋篠寺(奈良市)を訪れ、拝観。仏像を鑑賞し、お寺の佇まいを楽しんだ。
- ・ 午後からの話し合いについては、テーマとして数ある候補の中から「自己表現はむつかしい？」を皆で選び、話し合った。思ったよりも深いテーマであったが、「他を意識しないで自分らしくあることやある時」の気持ち、「自分をわかってほしい時の伝え方」のむつかしさ等が話に出た。時間が進むにつれて話は拡がり、相手の聞き方によって自分が思っている以上に自分を引き出してもらえたこと、自分の思いが伝わっているという反応が相手から感じられたときの充足感等々日々の中での思いだけに「自己表現」だけに止まらず大いに盛り上がった。

(3) 古典文化に触れる機会としては、

上記のとおり第2回開催の懇親会において、秋篠寺を拝観、仏像鑑賞等を行った。

2. 奈良県立橿原考古学研究所へ学術研究の為の書籍を寄贈した。

寄贈書籍については、同研究所から購入書籍報告書を受け取っている。